

平成30年度 学校評価公表シート

岩見沢めぐみ幼稚園

1. 園の教育理念

- ・ 園児一人一人に愛情を持って接する。
- ・ 良いこと悪いことの区別を教える。
- ・ 礼儀作法（特に挨拶）のしっかりした子に育てる。
- ・ 情操教育を通し心の温かい思いやりのある子に育てる。
- ・ 広い自然環境を生かし、自然に親しみ健康な子に育てる。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画を基に設定した学校評価の具体的な目標や計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教師自らが客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
園の教育方針を理解し、指導計画・月案・週案を計画し、保育を展開している。	園の教育方針・ねらいを教職員が理解し、週1回は会議を行い立案・確認をしている。
幼稚園教育要領の特性を理解し、それぞれの活動に目標を持って指導実践している。	毎年指導計画に加筆、訂正を行い、子どもの実態に即した内容にするように努めている。
毎日の保育の評価・反省を行うとともに、日々子どもとのかかわりについて振り返り、次からの保育へ活かせるようにしているか。	教師は日々の記録を毎日行い子どもの実態を把握し、また、各クラスで月や週の目標を定め、毎学期ごとに達成状況を報告し合うようにしている。
研修の意義と重要性を理解し、専門性の向上に努めている。	各研修会や研究会に参加し学んだことを職員会議などにおいて提供し、共有化を図るようにしている。
子どもが明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わえるような保育をしている。	一人ひとりの子どものよさを認め、教師が客観的に子どもを見る目を養うように努めている。
規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行う。	登園から降園までの一日の流れのなかで、身に付けてほしい生活習慣の獲得を促している。

身近な環境に親しみ様々な事象に興味や関心が持てるような保育をしている。	隣接している公園に散歩に行ったりしながら、季節の移り変わりなどを自ら発見し気づけるように促している。
子どもが自発的、意欲的にかかわれるような環境構成と子どもが主体的に活動し、幼児期にふさわしい体験が得られるよう工夫している。	自分で工夫して遊び、それが発展して友だちと協力して遊べる環境を準備するようにしている。
幼稚園内外での危険場所・場面を確認し、危険を予測する力を身に付け、環境を整えることができている。	教職員は危険マニュアルを参考にし、危険な事例などを分かりやすく子どもたちに知らせるとともに、園舎や園舎周りの環境を点検している。
苦情や要望を積極的に受け止め、保護者や苦情申し出人とより良い人間関係を築くことができるようにする。	行事後のアンケートなどで保護者の声を聞き、敏速に対応するよう心がけている。また、常に職員間で話し合いを持ち解決するようにしている。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	<p>昨年度より、新幼稚園要項を念頭に置き、各自適切に自己点検、自己評価に取り組んでいた。また、昨年度の反省をもとに今後も客観的な目で自らの教育、保育を振り返り、更に充実した実践ができるように努力を積み重ねていきたい。</p> <p>施設面では環境整備に力を入れており、子ども達が安心、安全に遊べる環境になるように努力しており、概ね目標を達成できた。</p>

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
支援を必要とする園児	市の専門機関との連携を図り、研修会などに積極的に参加し、教職員の専門性を高める。
自己点検、自己評価	年度初めに挙げた自己目標を学期ごとに振り返り、改善点を再確認する。
指導計画の編成	新教育要領に基づいた指導計画の作成のために訂正、加筆をさらに加え、園を取り巻く環境や子どもの実態に即した新たな指導計画の編成に取り組んでいく。

6、学校関係者評価委員会の意見

菅原 崇 様（岩見沢市立北真小学校教諭）

1 保護者アンケート集計結果より

すべての項目でA（おおむね良い）が70%を超えています。保護者のニーズが多様化する中で、これだけ高い満足度を得られていることは、たいへん良い結果であると考えます。特に、「保育は楽しそうですか」、「教職員の清潔感・礼儀作法はどうですか」、「教職員の雰囲気はどうですか」、「教職員の対応はどうでしたか」の設問では、Aが90%に到達しています。これは、めぐみ幼稚園の五つの保育理念を教職員の皆さんが共有し、日々実践された結果であると考えます。次年度以降も、この五つの保育理念を具現化する教育の実践に努めてください。

2 自己評価表集計結果より

教職員を対象とした自己評価表の結果の中で、特筆すべきは「分担された仕事は責任を持って行うことができているか」の設問で、A（できた）が100%だったという点です。教職員の皆さん一人一人が、非常に大きな責任感を持って職務を遂行していることが伺え、たいへん評価できます。一方、「幼稚園教育要領の特性を理解し、実践しているか」、「研修の意義と重要性を理解し、年限性と専門性の向上に努めているか」、「緊急事態に対して、マニュアルを活用し、敏速に対応できるようにしているか」の3つの設問では、Aが48～53%と他の項目より低くなっています。これらの内容に関しては、個々人の研修に任せるのではなく、組織だった研修の機会を設ける必要性を感じます。

3 総括

総じて、教職員一人一人の多大な尽力により、園児および保護者から高い評価を得ています。今後、教職員の皆さんの研修をバックアップするようなシステム作りをすることで更なる向上が期待できます。

石尾 晃義 様（あかしや保育園理事長）

教育理念を基本に教職員が一体となり日々の努力が結果としていい評価に表れていると思います。保護者にとって子どもが安心して笑顔で明るく楽しみに通園できる幼稚園であることが証明された結果であると思います。今後一層園児の為、教職員が意思疎通を図り互いに話し合い知恵を出し合って、問題を解決し今後さらなる資質向上に努力をしてください。

玉田 尚久 様（岩見沢めぐみ幼稚園 父母の会会長）

平成30年度保護者用アンケート集計を拝見させていただいたところ、80%以上の回答が（A、概ね良い）となっており、先生方が子どもたちに真剣に向き合っている姿勢が評価されているのだと考えます。一方、5%が（C、改善してほしい・無回答）であるというところに着目すると、保護者にうまく伝わらなかった部分もあったのだと思います。子どもたちフ

ファーストを目指す中で、日々のトライ＆エラーによる改善は必要なことだと思いますが、保護者と先生方のどちらか一方に無理がかかることは、多感な子どもたちに対して、しわ寄せいくとも考えられます。そういった意味では、負担を増やさずに効果を最大限に上げる改善への取り組みが必要だと思います。アンケート詳細にも要望がありましたが、参観日にしても、制作に拘らず、運動や英会話などの園生活の日常を見せることで、参加率だけでなく、園への理解度も変わってきますので、そのような視点から改善策のご検討をいただきたいと思っています。

先生方の自己評価表については、(C、できなかった)との回答がほぼありませんでしたが、あった部分の項目に対して、ムリ・ムダ・ムラがなかったかを分析した上で、園全体としてフォローをしていただきたいと思っています。また、アンケートからは読み取れませんが、先生方が健康で元気に子どもたちと向き合っていただけのように、働きやすい・働きがいがある職場環境構築にも引き続き努めていただくことをご期待申し上げます。が、非常に納得のできる結果となっております。

総括となりますが、教職員の皆様の子どもたちに対する愛情が感じられ、笑顔絶えない素敵な幼稚園だと思います。来年度はさらに子どもたちの人数が増え、新たな課題も多々出てくるかと思いますが、保育理念を軸に子どもたち一人ひとりに寄り添いながら、より一層笑顔溢れる素敵な幼稚園になる事を期待しております。